

卒業論文・修士論文・博士論文題目一覧

〈卒業論文〉

- 有吉 拓朗 福岡県における第二回総選挙の分析
石尾 亮平 稲村公方・篠川公方と東国政治情勢
伊藤 健 明治四一年初頭に起った原油関税改正議論―論争当
事者たちの思惑に対する一考察―
川口 達也 明治二十年代前半の埼玉県道路行政―熊谷大宮郷間
道路開墾問題から考察するそのイデオロギーの変
化―
佐竹 康扶 大正期の技術者運動―工政会の政治参画構想と方針
轉換を中心に―
谷森 太輔 明治後期における日刊紙・戸別配達網の形成過程
諸田 大輔 小田原藩領における川除普請訴願について
米岡 耕平 一九一〇年代における蚕種統一運動
伊藤純一郎 「房相一和」前後における里見氏と北条氏の関係に
ついて
大沢 知史 南北朝期における熊野海賊の活動について―熊野三
山、内陸部の武士との関係を中心に―
角和 裕子 幕末江戸における蕎麦の供給
佐藤あおい 奥州藤原氏滅亡の意義
小野(下平)歩実 寛政度内裏普請と御用木請負―信州伊那郡千村預

所を事例に―

- 中田 優希 鎌倉幕府の狩獵とそれに関する諸政策について
中西 啓太 日露戦後の税制と地域社会―所得税から描いた地域
有力者像―
本田聡都子 木曾のお六櫛に見る近世工業の展開と地域
松尾 悠平 鈴木商店破綻に至る経緯―震手法案をめぐる台湾銀
行への影響・議会での動きを中心に―
宮崎 正博 中世堅田経済と本福寺教線―堅田の内部対立を中心
に―
森内 岳 織田政権における徳川家康の政治的立場―天正期を
中心に―
鷺尾 朗 江戸前中期の長崎開港について―佐賀藩を例に―
太田 仙一 初期三菱の人材育成策―教育事業を中心として―
金 蓮玉 長崎「海軍」伝習―伝習をめぐる諸評議と伝習の実
態
倉本 大樹 鎮西探題の使節と守護
谷口 雄太 中世吉良氏の研究
藤田 壮介 幕末維新期尾張藩の産物統制政策

〈修士論文〉

態

前田 亮介 日清戦争後の経済と政治―統合主体形成の政治学―

安田 智昭 近世後期における紅花の集荷組織と流通構造

屋良健一郎 琉球王国における大和文化受容の過程とその背景

吉井 文美 一九三〇年代東アジアにおける日本と英連邦の相剋
―経済権益と貿易をめぐる交渉の展開

若山 太良 一九世紀前半における幕府政策の基礎的研究

藤田覚（主査）・吉田伸之・大津透・山口和夫・田中暁龍

若月 剛史 政党内閣の成立と崩壊―官僚制の構造変容とその影響―

野島（加藤）陽子（主査）・藤田覚・鈴木淳・村

松岐夫・季武嘉也

乙（論文博士）

松澤 裕作 明治地方自治体制の起源 近世社会の危機と制度変

容

鈴木淳（主査）・野島（加藤）陽子・吉田伸之・

奥村弘・渡辺尚志

幕藩制国家と東アジア世界

藤田覚（主査）・吉田伸之・松井洋子・荒野泰典

・真栄平房昭

甲（課程博士）

遠藤 珠紀 中世前期朝廷社会における官司制度と政務運営構造

村井章介（主査）・佐藤信・本郷恵子・五味文彦

・井原今朝男

木下 聡 中世武家官位の研究

村井章介（主査）・藤田覚・桜井英治・鴨川達夫

・池享

申 美那 中世文人貴族の家と職―名家日野家を中心として―

村井章介（主査）・藤田覚・佐藤信・野島（加藤）

陽子・本郷恵子

満園 勇 小売革新にみる大衆消費社会の形成過程―戦前期日

本の通信販売と月賦販売

鈴木淳（主査）・野島（加藤）陽子・吉田伸之・

谷本雅之・粕谷誠

村 和明 近世朝廷の成立と展開